

# 社会資本総合整備計画 - 効果促進事業の事例 - 【静岡県】

事業名： ボランティア活動支援事業、砂防樹林帯の整備

事業主体： 静岡県

## 【事業の概要】

当事業は、土砂災害を防ぐ里山づくりの一環として砂防樹林帯の整備を円滑に進めるため、協働で行っているNPO法人等に対して、活動に必要な費用を支援し、土砂災害対策を推進する。

## 【事業のイメージ】



丹念に苗木を植樹する参加者—静岡市清水区

### 関連新聞記事

**梅や桜の苗植樹**  
清水区のNPO法人「土砂災害防止図る」が、静岡市清水区内地区の放置竹林整備などに取組むNPO法人「森とスラブ、清水西ロータ水辺を育てる会」と異なる「リクスラ、地元の子ど」は11日、同地区で土砂災害を防止する樹林帯育種竹林を伐採した山の斜面に梅や桜、トチノキの苗木約80本を丹念に植えた。

**梅や桜の苗植樹**  
清水区のNPO法人「土砂災害防止図る」が、静岡市清水区内地区の放置竹林整備などに取組むNPO法人「森とスラブ、清水西ロータ水辺を育てる会」と異なる「リクスラ、地元の子ど」は11日、同地区で土砂災害を防止する樹林帯育種竹林を伐採した山の斜面に梅や桜、トチノキの苗木約80本を丹念に植えた。

**一年ベルトのモデル地区。同会と異が連携して整備を進めているほか、植樹体験などを通じて里山の魅力に繋がってもらおうと、首都圏のオオスカヤライオンズクラブのメンバーを招いている。**



活動エリア

### 年間スケジュール



## 年間活動のスケジュール

平成23年度要求額(予定)： 200 千円  
 全体事業量(H23年~H24年)(予定)： 400 千円